

第2回BLSOプロバイダーコース in北薩



Basic Life Support in Obstetrics (BLSO)とは

病院前および産科プロバイダーが不在の救急部門の産科救急を想定した産科救急基礎トレーニングです。

コースは妊婦の評価・分娩介助・新生児蘇生・救急車内分娩・産後大出血について少人数制のワークステーションで学びを深めます。コースを受講し、試験に合格した場合は米国家庭医学会(AAFP)とALSO-Japanが認定する5年間有効な認定を受けることができます。

日本では1年間に734件の施設外分娩事例が救急隊に収容されています。(2010年調査) 外傷でERに搬入される妊婦も珍しくありません。更に東日本大震災での東北大学菅原教授らの研究報告では、宮城県内で病院に到着する前の分娩は震災前の2010年には8件でしたが、震災時には23件に著増、妊婦の救急搬送は598件が807件に増加したことが示され、災害医療においても病院前救護を目的とした研修の重要性が指摘されています。

今回、2回目のBLSOプロバイダーを開催することになりました。日頃、産科医療に関わる機会の少ない救急隊員・救急外来スタッフの皆さんに、少しでも産科救急へ関心をもっていただき、地域全体でママと赤ちゃんを救えるようになりたい思いで開催させていただいてます。皆さんの参加をお待ちしています。

済生会川内病院



開催日時: H 31年 3月23日(土)・24日(日)

08時30分～17時00分(予定)

※各1日間コースとして2日間 開催します

開催場所: 薩摩川内市 済生会川内病院

主催: 済生会川内病院

共催: NPO 法人周産期支援機構(OPPIC)

受講対象: 救急隊員、看護師、医師、学生など

受講料: 12,000円(昼食代込み)

受講定員: 各日 12名 (23日か24日のいずれかを受講)



公式テキスト: 受講決定後、教育提供サイトからダウンロード

購入推薦図書:

『日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト』

田村正徳(監修)メジカルビュー社

『病院前救護のための産科救急トレーニング』

新井隆成監訳 中外医学社

【申し込み・連絡先】

済生会川内病院

麻酔科 日高 帯刀

助産師 臼木 結子

助産師 國分 裕花

電話: 0996-23-5221

E-mail: hokusatublso@yahoo.co.jp

【講習スケジュール(予定)】

講習内容	時間
受付	8:30-8:45 (15分)
イントロダクション	8:45-9:10 (25分)
分娩介助	9:10-10:10 (60分)
新生児蘇生	10:20-11:20 (60分)
女性傷病者の評価	11:30-12:50 (80分)
昼食	12:50-13:20 (30分)
試験準備	13:20-13:50 (30分)
筆記試験・実技試験・ 救急車内分娩 症例検討	13:50-16:50 (180分)
クロージング	16:50-17:00 (10分)

受講希望者は、上記メールアドレスにPCメールより受講希望を明記のうえ連絡してください。当方より、受講申し込み用紙を返信いたします。

申し込み多数の場合は、職種・地域バランスで選考のうえ、メールにて受講可否の連絡をさせていただきます。